

安全、安心、信頼の医療を

山形県立新庄病院だより

令和2年2月号



わかば



YAMAGATA PREFECTURAL
SHINJO HOSPITAL

山形県立新庄病院

〒996-0025 新庄市若葉町12-55

電話 0233 (22) 5525



私たちは、**仁、愛、和**の心を込めて
最上地域の医療を支えてまいります

目次

★知ってほしい病気のこと 脳梗塞について

★2023年(令和5年)新病院開院に向けて

地域救命救急センターを整備します

★当院の食事紹介

★入退院支援の強化について

新庄病院ホームページ

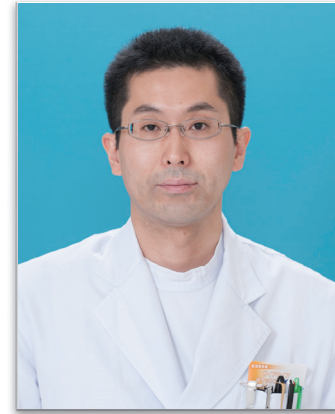
アドレスはこちら

<http://www.ysh.pref.yamagata.jp>



～知ってほしい 病気のこと～

のうこうそく 脳梗塞について



脳神経外科医師
加藤 直樹

「あたる」って何

突然、脳の病気になり半身不随になったりすることをよく「あたる」と言います。この「あたる」ことを「脳卒中」と言います。脳卒中というのは、脳の血管が詰まる脳梗塞、脳に出血を起こす脳出血・くも膜下出血をまとめて呼ぶ際の名前となります。今回はこの脳卒中のうち、脳梗塞についてお話したいと思います。

脳梗塞とは

脳梗塞とは、脳の血管が詰まることで脳に血が行かなくなり、脳細胞が壊れてしまうことで脳の機能が低下したり失われたりする病気です。脳は場所によって持っている働きが異なるため、損傷された場所に応じて手足の麻痺や言語障害、視覚障害など様々な後遺症が出て、半身不随や寝たきり状態になったり、最悪、命にかかわることもある病気です。

脳梗塞の治療で大切なこと

脳は一度壊れてしまうと再生できない臓器です。そのため治療で大切になることは、壊れてしまう脳の範囲をできるだけ小さく留めることとなります。そのためには脳梗塞になった場合は、できるだけ早く治療を開始することが肝要となり、できるだけ早く病院に来ることが大切です。

脳梗塞の診断

一番は本人の自覚症状と家族から見た変化になります。いつもと様子が違う、という時にはぜひその旨をお伝えください。それをもとに、CT検査、MRI検査など行い診断をつけます。(とはいえ、検査器械も万能ではありませんので、検査しても異常が捉えられない場合もあります。ただその場合、非常に軽症であることが多いので、心配しすぎなくても大丈夫なことが多いです。)

脳梗塞の治療

大きく、薬物療法と手術療法に分けられます。ほとんどは薬物療法となりますが、たまに手術療法を必要とする場合もあります。手術はカテーテル治療というもので、血管の中に細い管を入れ、血管の目詰まりを起こした原因(多くは血栓という血の塊です)を取り除く治療になります。これは脳梗塞になったひと全員に行える訳ではありませんので、多くの人は薬物療法となります。そのため当院では脳梗塞は内科と脳外科で治療を行っています。ご自分や身の回りの方の様子が少ないもおかしいようなら、早めの受診を!

山形県立新庄病院

2023年度(令和5年度) 新病院開院に向けて

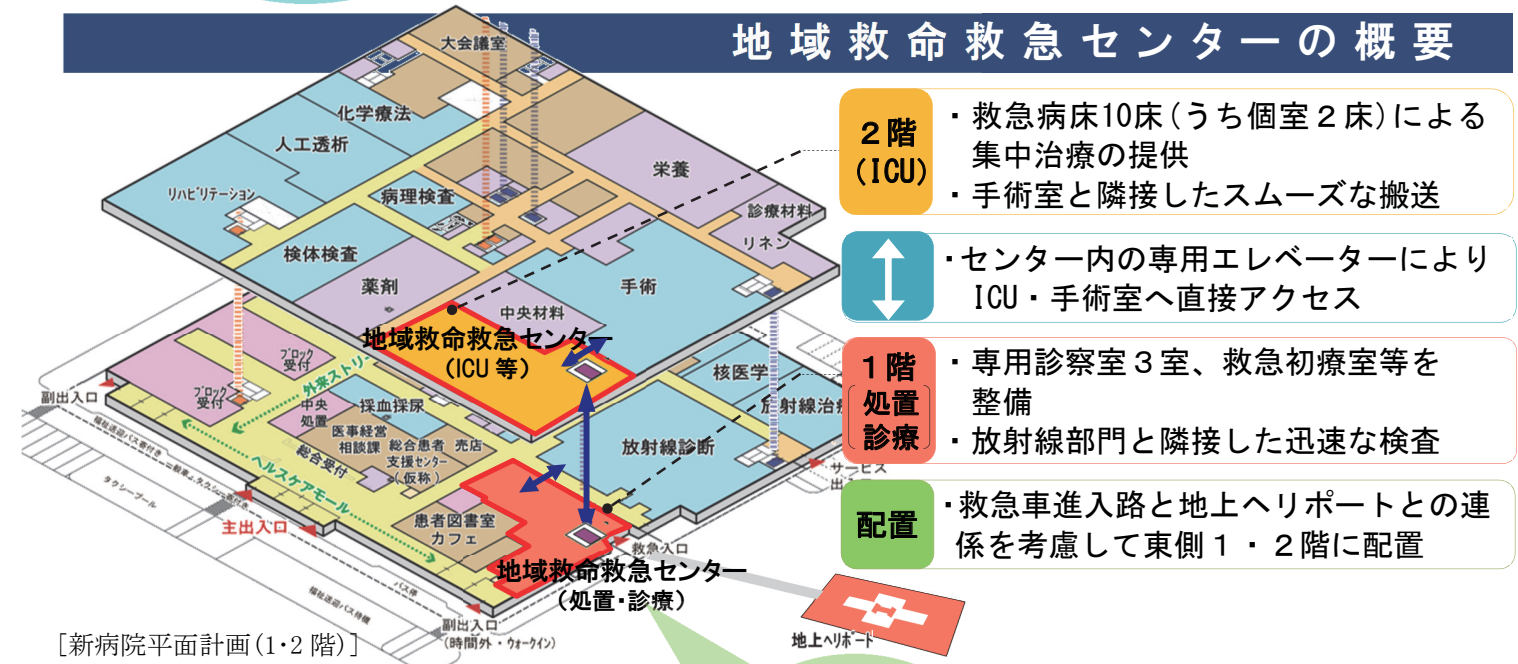


最上地域唯一の基幹病院として救急医療機能を強化

地域救命救急センターを整備します

現在、県内で唯一、最上二次医療圏には救命救急センターが設置されておられません。新庄病院が、将来にわたり最上地域の住民に安心と信頼を与え、命の砦となりえるように、新病院に「地域救命救急センター」及び「地上ヘリポート」を整備し、救急医療機能を強化します。また、新庄市夜間休日診療所の機能を新病院に移転し、救急医療の効果的かつ効率的な運用を目指します。

地域救命救急センターの概要



- 2階 (ICU)**
 - 救急病床10床(うち個室2床)による集中治療の提供
 - 手術室と隣接したスムーズな搬送
- 1階 処置 診療**
 - 専用診察室3室、救急初療室等を整備
 - 放射線部門と隣接した迅速な検査
- 配置**
 - 救急車進入路と地上ヘリポートとの関係を考慮して東側1・2階に配置

新庄市夜間休日診療所機能の移転

新庄市最上郡医師会等の医師に協力いただき、地域救命救急センター内の診察室で初期救急を必要とする患者さんへの診療を担当していただく予定です。地域と連携し、更なる住民の利便性の向上、医療連携に努めていきます。(なお、医師の負担軽減のため引き続き救急外来の適正受診にご協力をお願いします。)

お知らせ 新病院の模型を展示しています



- 院内1階の薬局カウンター前に展示しています。
- 新病院の敷地の全体像がご覧いただけます。
- 来院の際にはぜひご覧ください。

～当院の食事紹介～

当院の栄養管理室では、盛り付けなどにも気を配り、患者さんにとって食事が入院中の楽しみになるよう心がけています。また、患者さんに少しでも季節を感じながら和んでいただきたいという思いをこめて、行事食を提供しています。今回は実際に当院でお出しした行事食をいくつかご紹介します。



母の日献立

- ★菜の花ごはん
- ★チキンタルタル
- ★グリーンサラダ
- ★マンゴープリン

七夕献立

- ★ちらし寿司
- ★そうめん汁
- ★含め煮
- ★七夕ゼリー

クリスマス献立

- ★ご飯
- ★コンソメスープ
- ★カレーのグリル
- ★マスタードマリネ
- ★クリスマスデザート

入退院支援の強化について

超高齢化社会で退院先が多様化している中で、当院では患者さん、ご家族の方が退院後どのような暮らしを望んでいるかを伺い、可能な限り希望に沿った支援を行うため、令和元年11月より支援担当看護師を2名増員し、支援体制を強化しました。

支援内容としては、入院初期からの病気の状況、家族の状況等を把握して、担当医師、病棟看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士等の病院関係者及び介護施設等外部の関係者と情報を共有しながら、退院へ向けての情報を患者さん及びご家族の方へ説明を行い、支援計画を立てております。

今後も、患者さんのスムーズな在宅復帰、地域移行を目指し、関係機関と連絡調整しながら退院支援を行ってまいります。

入院中のこと、病気に対する不安、退院後の心配事などについては、入退院支援スタッフにお気軽にご相談ください。

スタッフ一同お待ちしております！

